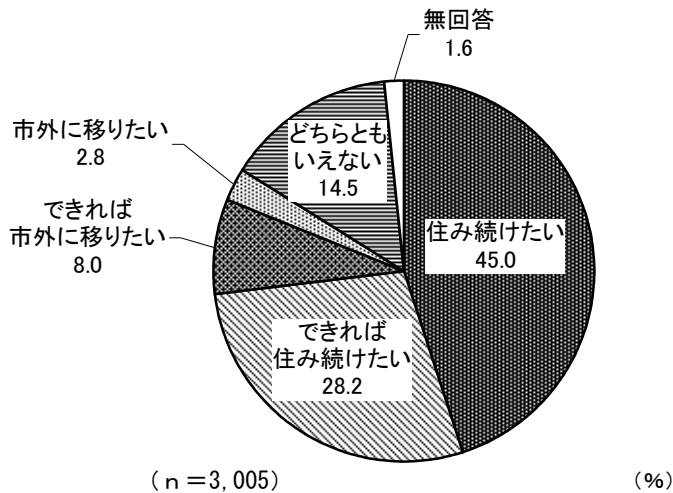


1 暮らしの状況

(1) 定住意向 (A・B：問1)

問. 厚木市に住み続けたいですか。(1つだけ選んでください)

図1-1-1 定住意向



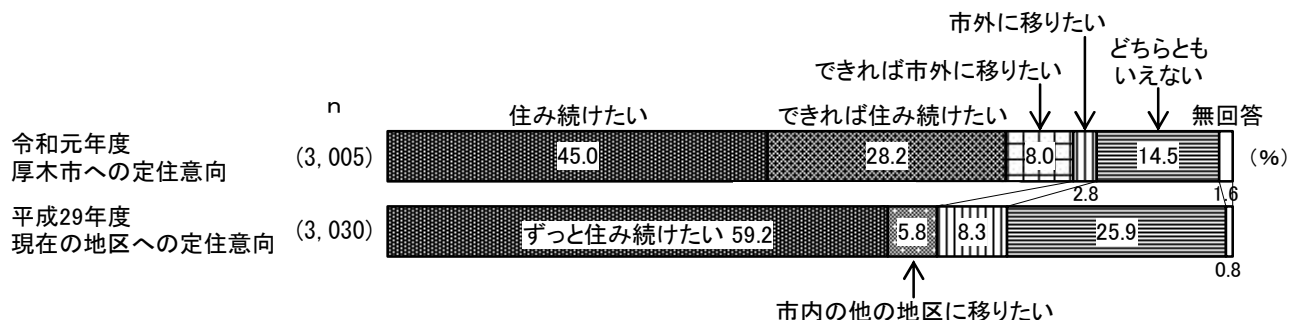
【全体】

厚木市への定住意向について聞いたところ、「住み続けたい」(45.0%)と「できれば住み続けたい」(28.2%)の2つを合わせた『定住意向』(73.2%)が7割半ば近くと高くなっている。一方、「できれば市外に移りたい」(8.0%)と「市外に移りたい」(2.8%)の2つを合わせた『転出意向』(10.8%)は約1割となっている。

【経年変化】

平成29年度調査では、「現在住んでいる地区への定住意向」について聴いていた。質問及び選択肢が異なっているため、結果を参考に掲載する。

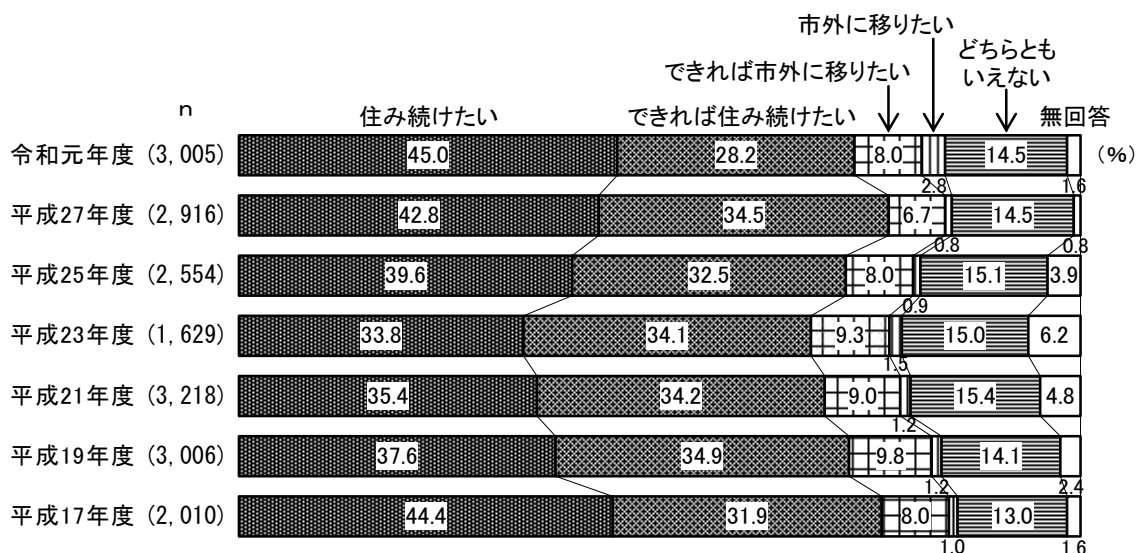
図1-1-2 厚木市への定住意向・現在の地区への定住意向ー平成29年度調査との対比



(注)平成29年度調査では、「現在お住まいの地区にずっと住み続けたいですか。(1つだけ選んでください)」と質問していた。

また、平成27年度調査以前では、今回調査と同様に聴いていた。その結果と比較すると、『定住意向』(73.2%)は平成27年度調査(77.3%)より4.1ポイント減少している。一方、『転出意向』(10.8%)は平成27年度調査(7.5%)より3.3ポイント増加している。

図1-1-3 厚木市への定住意向ー経年変化

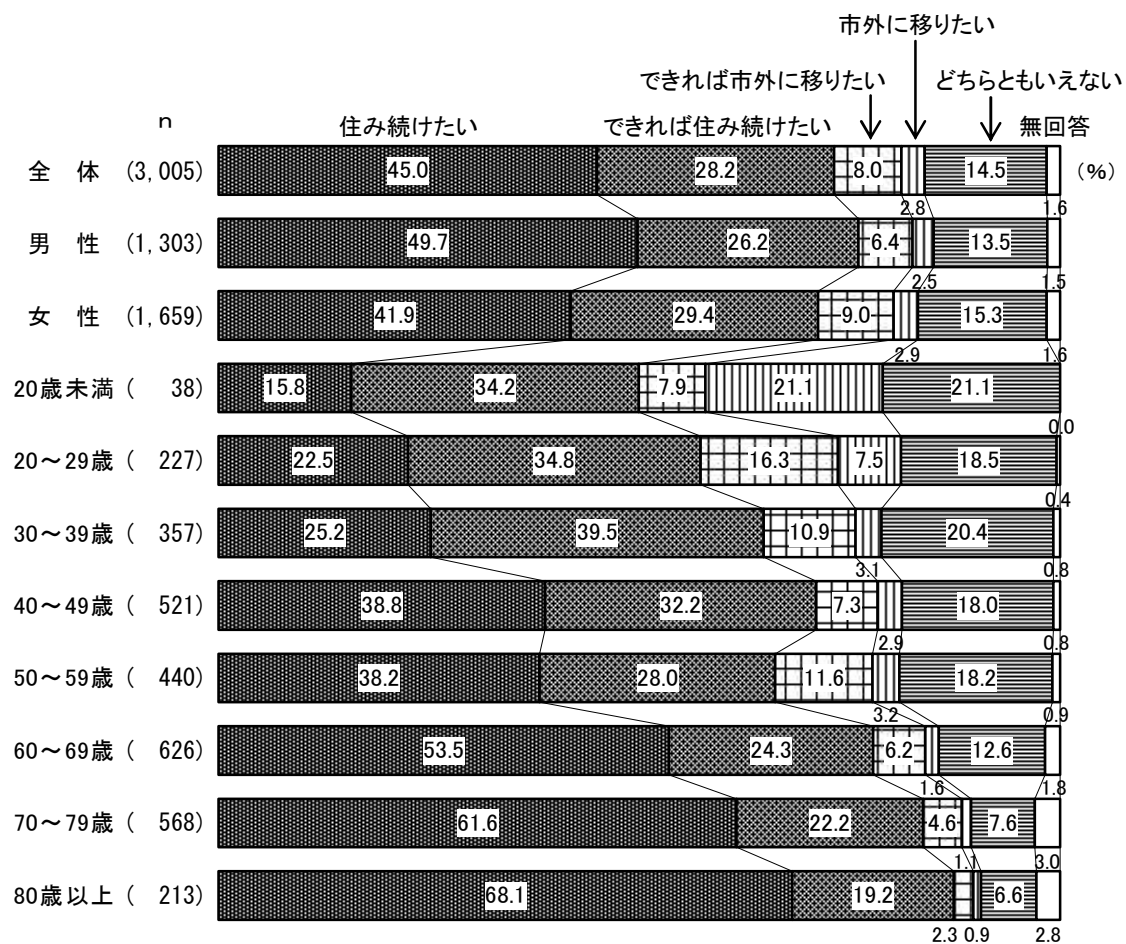


【属性別】

性別で見ると、男性では『定住意向』（75.9%）が女性（71.3%）より4.6ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、『定住意向』は80歳以上（87.3%）で8割半ばを超え、70～79歳（83.8%）で8割半ば近く、60～69歳（77.8%）で8割近くと高くなっている。『転出意向』は20歳未満（29.0%）が約3割と高くなっている。

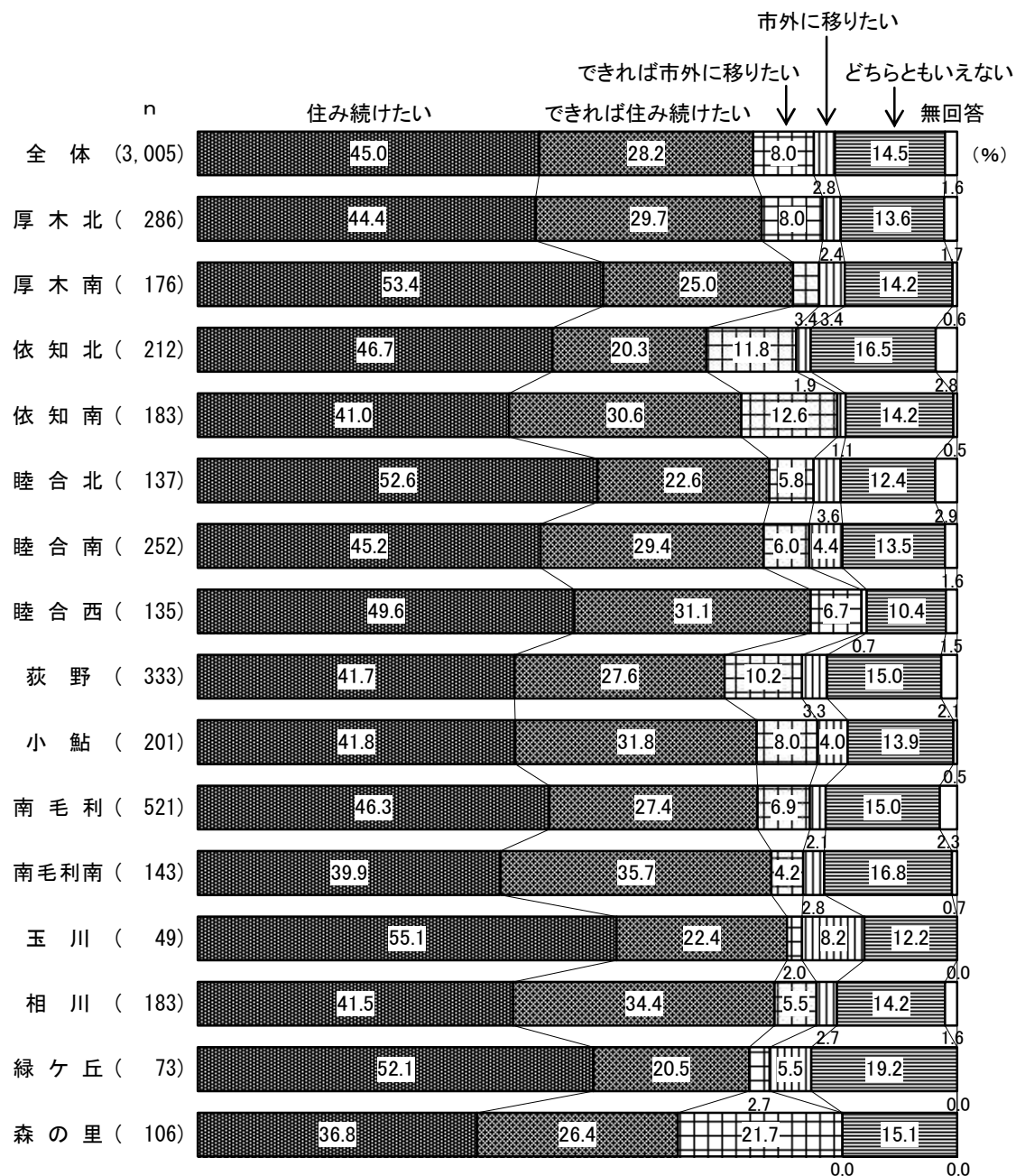
図1-1-4 定住意向－性別、年齢別



【属性別】

居住地区別で見ると、『定住意向』は睦合西(80.7%)で約8割と最も高く、次いで厚木南(78.4%)と玉川(77.5%)で8割近くとなっている。一方、森の里(63.2%)、依知北(67.0%)、荻野(69.3%)では6割台にとどまっている。

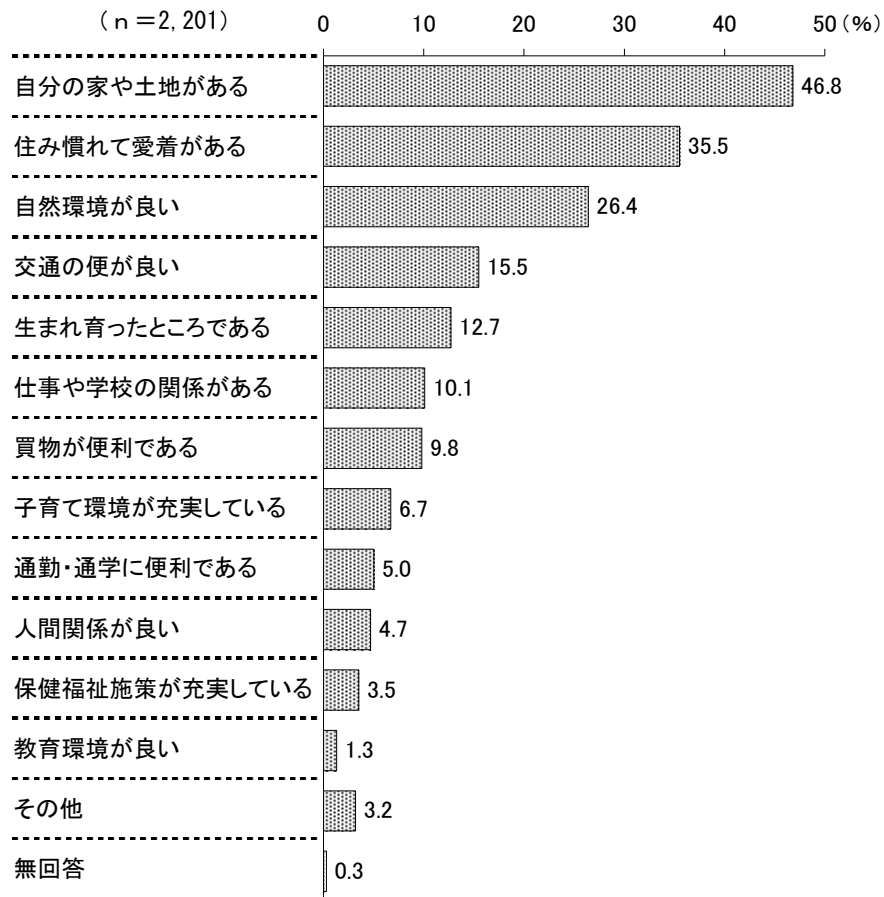
図1-1-5 定住意向—居住地区別



(2) 住み続けたい理由 (A・B：問2)

問.「住み続けたい」または「できれば住み続けたい」とお答えの方は、どのような理由ですか。
(2つまで選んでください)

図1-2-1 住み続けたい理由



【全体】

厚木市に「住み続けたい」または「できれば住み続けたい」と答えた2,201人に、住み続けたい理由について聞いたところ、「自分の家や土地がある」(46.8%)が4割半ばを超えて最も高く、次いで「住み慣れて愛着がある」(35.5%)、「自然環境が良い」(26.4%)、「交通の便が良い」(15.5%)、「生まれ育ったところである」(12.7%)となっている。

【経年変化】

平成29年度調査では、現在住んでいる地区に「ずっと住み続けたい」と答えた理由を聴いており、質問が異なるため、今回調査と同じ質問である平成27年度以前の調査結果と比較すると、上位3項目は同じ順位となっており、平成27年度調査と比べて大きな差異は見られない。

表1－2－1 住み続けたい理由－経年変化

(%)

調 査 年	n	自分の家や土地がある	住み慣れて愛着がある	自然環境が良い	交通の便が良い	生まれ育ったところである	仕事や学校の関係がある	買物が便利である	子育て環境が充実している	通勤・通学に便利である	人間関係が良い	保健福祉施策が充実している	教育環境が良い	その他	無回答
令和元年度	2,201	46.8	35.5	26.4	15.5	12.7	10.1	9.8	6.7	5.0	4.7	3.5	1.3	3.2	0.3
平成29年度	1,793	45.2	32.3	29.7	18.5	11.5	6.4	11.7	4.0	4.4	7.3	3.1	1.1	2.3	0.4
平成27年度	2,253	48.9	33.5	27.9	14.0	14.4	9.5	8.6	8.5	3.6	5.6	2.5	0.6	2.9	1.0
平成25年度	1,842	44.1	32.2	32.0	15.0	13.4	9.3	9.9	5.1	4.5	5.3	3.5	0.5	3.3	0.8
平成23年度	1,106	52.8	33.4	31.0	12.6	13.5	9.0	6.6	4.4	5.2	6.1	2.9	0.4	3.4	2.3
平成21年度	2,237	54.7	35.0	29.8	12.5	14.9	9.4	7.3	－	3.6	5.7	2.8	1.2	2.0	0.7
平成19年度	2,178	53.9	35.2	30.9	10.1	15.2	8.3	9.1	－	2.9	7.0	3.4	0.6	1.7	2.2
平成17年度	1,534	53.4	42.6	27.4	11.3	25.2	6.4	8.7	－	2.4	5.3	2.4	0.7	1.0	0.3

（注1）平成29年度調査では、現在住んでいる地区に「ずっと住み続けたい」と答えた人に対して質問していたため、平成29年度の調査結果は参考掲載とする。

（注2）平成23年度調査以降では、「子育て環境が充実している」の選択肢を追加している。

【属性別】

性別で見ると、女性では「子育て環境が充実している」(8.7%)が男性(4.3%)より4.4ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「自分の家や土地がある」は50～59歳以上の年代が5割台と高くなっている。「自然環境が良い」は70～79歳(32.6%)と80歳以上(32.8%)が3割半ば近くと高くなっている。「子育て環境が充実している」は30～39歳(25.5%)が2割半ばと高くなっている。

居住年数別で見ると、「住み慣れて愛着がある」は20年以上(移り住んで以来)(45.9%)が4割半ばと高くなっている。「自然環境が良い」は3～4年(37.0%)が3割半ばを超えて高くなっている。「生まれ育ったところである」は20年以上(生まれてからずっと)(36.9%)が3割半ばを超えて高くなっている。「仕事や学校の関係がある」は5～9年(27.5%)が3割近くと高くなっている。「子育て環境が充実している」は5～9年(21.8%)が2割を超えて高くなっている。

表1-2-2 住み続けたい理由－性別、年齢別、居住年数別

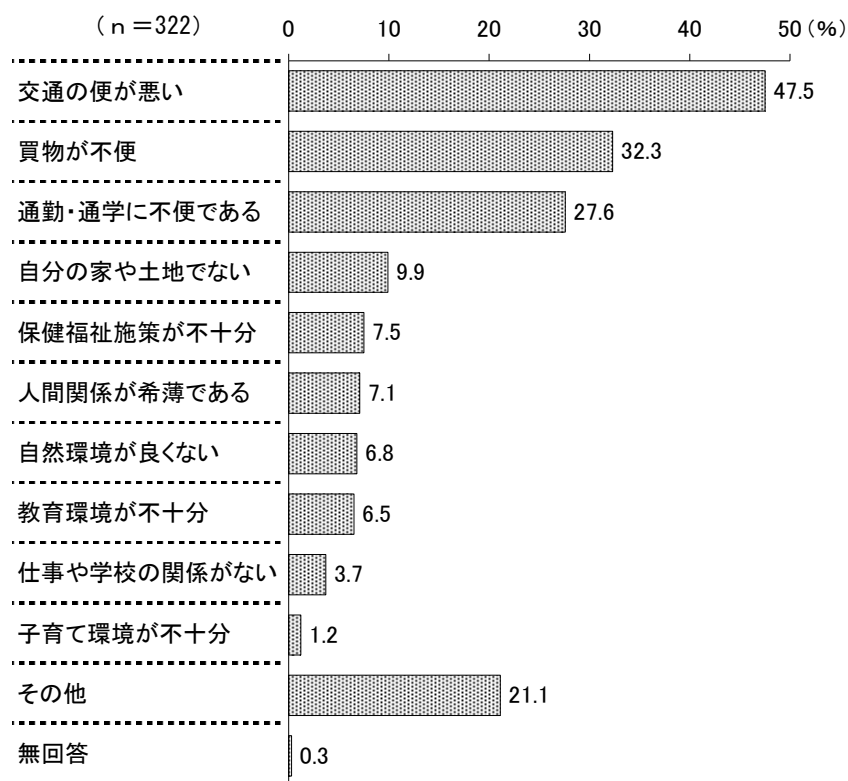
(%)

		n	自分の家や土地がある	住み慣れて愛着がある	自然環境が良い	交通の便が良い	生まれ育ったところである	仕事や学校の関係がある	買物が便利である	子育て環境が充実している	通勤・通学に便利である	人間関係が良い	保健福祉施策が充実している	教育環境が良い	その他	無回答
全 体		2,201	46.8	35.5	26.4	15.5	12.7	10.1	9.8	6.7	5.0	4.7	3.5	1.3	3.2	0.3
性別	男 性	990	48.5	35.5	26.6	15.9	13.0	10.9	8.9	4.3	6.3	3.7	3.9	1.0	3.2	－
	女 性	1,182	45.9	35.8	26.1	15.1	12.6	9.2	10.2	8.7	3.7	5.6	3.3	1.4	3.1	0.6
年齢別	20 歳 未 満	19	21.1	36.8	31.6	15.8	26.3	5.3	10.5	－	10.5	10.5	－	－	－	－
	20 ～ 29 歳	130	22.3	30.8	17.7	16.9	21.5	16.9	12.3	19.2	13.1	4.6	0.8	0.8	5.4	－
	30 ～ 39 歳	231	31.6	31.6	19.9	14.3	16.9	21.2	7.8	25.5	7.4	1.3	2.6	2.2	3.5	－
	40 ～ 49 歳	370	38.4	33.5	23.0	12.7	13.8	18.4	7.8	14.1	9.5	2.4	1.1	3.2	3.5	－
	50 ～ 59 歳	291	54.3	35.4	23.4	17.2	13.1	14.4	5.5	2.4	8.2	5.8	3.4	1.0	2.7	－
	60 ～ 69 歳	487	56.7	41.5	27.5	16.0	11.3	5.3	10.3	0.2	2.1	5.1	2.3	0.4	3.7	0.2
	70 ～ 79 歳	476	53.2	33.8	32.6	16.4	9.2	2.3	13.7	0.2	0.6	6.5	6.1	1.1	2.1	0.8
	80 歳 以 上	186	50.0	35.5	32.8	15.6	10.2	0.5	9.7	0.5	－	5.9	9.1	－	3.2	1.1
居住年数別	20年以上(生まれてからずっと)	640	49.5	35.5	20.3	12.0	36.9	6.3	5.9	4.1	3.3	3.8	2.3	0.9	1.1	0.2
	20年以上(移り住んで以来)	954	54.8	45.9	28.7	15.4	2.4	7.7	10.3	2.2	2.1	5.9	4.4	0.9	3.0	0.4
	10～19年(生まれてからずっと)	15	26.7	33.3	33.3	6.7	33.3	6.7	13.3	－	6.7	13.3	－	－	－	－
	10～19年(移り住んで以来)	271	40.6	26.2	27.7	22.9	2.2	14.4	9.6	13.3	7.0	5.2	3.7	1.8	4.8	－
	5 ～ 9 年	142	30.3	21.1	27.5	10.6	2.8	27.5	12.7	21.8	9.9	2.1	2.1	1.4	4.9	1.4
	3 ～ 4 年	73	27.4	6.8	37.0	21.9	－	16.4	16.4	19.2	16.4	2.7	8.2	4.1	6.8	－
	2 年 以 下	94	9.6	4.3	27.7	22.3	3.2	19.1	21.3	19.1	21.3	3.2	2.1	3.2	9.6	－

(3) 市外に移りたい理由 (A・B：問3)

問.「できれば市外に移りたい」または「市外に移りたい」とお答えの方は、どのような理由ですか。(2つまで選んでください)

図1-3-1 市外に移りたい理由



【全体】

「できれば市外に移りたい」または「市外に移りたい」と答えた322人に、市外に移りたい理由について聞いたところ、「交通の便が悪い」(47.5%)が5割近くで最も高く、次いで「買物が不便」(32.3%)、「通勤・通学に不便である」(27.6%)、「自分の家や土地でない」(9.9%)、「保健福祉施策が不十分」(7.5%)となっている。

【経年変化】

平成29年度調査では、「市内の他の地区に移りたい」または「市外に移りたい」と答えた理由を聴いており、質問が異なるため、今回調査と同じ質問である平成27年度以前の調査結果と比較すると、「交通の便が悪い」（47.5％）は平成27年度調査（39.2％）より8.3ポイント、「通勤・通学に不便である」（27.6％）は平成27年度調査（20.3％）より7.3ポイント増加している。一方、「人間関係が希薄である」（7.1％）は平成27年度調査（12.4％）より5.3ポイント減少している。

表１－３－１ 市外に移りたい理由－経年変化

(%)

調査年	n	交通の便が悪い	買物が不便	通勤・通学に不便である	自分の家や土地でない	保健福祉施策が不十分	人間関係が希薄である	自然環境が良くない	教育環境が不十分	仕事や学校の関係がない	子育て環境が不十分	その他	無回答
令和元年度	322	47.5	32.3	27.6	9.9	7.5	7.1	6.8	6.5	3.7	1.2	21.1	0.3
平成29年度	427	44.7	39.1	16.4	14.1	7.5	6.6	8.0	1.9	4.0	2.1	21.8	1.4
平成27年度	217	39.2	31.3	20.3	11.1	6.5	12.4	8.3	4.6	6.0	6.5	24.4	0.5
平成25年度	227	38.3	31.3	19.4	14.1	5.3	11.9	3.5	3.1	4.0	1.3	30.8	0.0
平成23年度	177	41.2	29.4	22.0	14.1	6.2	8.5	8.5	6.2	5.6	7.9	22.6	2.8
平成21年度	329	45.0	33.1	19.5	10.6	8.5	10.3	12.2	10.6	5.2	－	18.5	0.3
平成19年度	331	42.3	25.4	26.0	10.0	9.1	7.6	12.4	10.9	5.4	－	23.6	0.3
平成17年度	182	45.1	33.5	28.0	3.8	9.3	6.0	12.6	8.8	7.1	－	23.6	0.0

（注１）平成29年度調査では、現在住んでいる地区から「市内の他の地区に移りたい」または「市外に移りたい」と答えた人に対して質問していたため、平成29年度の調査結果は参考掲載とする。

（注２）平成23年度調査以降では、「子育て環境が不十分」の選択肢を追加している。